



図書館便り

基町高校図書委員会 H31.2.22 第8号

文 2-10 図書委員幹部

2月に入り今年度も残りわずかとなりました。2月、3月は高校入試や春休みなどで休日が多く、また、気温も低いので家にいる機会も多いのではないのでしょうか？

そんな時間のあるときには是非読んでほしい読み応えのある本を『ファンタジー』をテーマに紹介したいと思います。

世界の美しい図書館 分類番号 012

図書館あり

この本はその名の通り世界中の美しい図書館を写真とともに紹介している本です。

紹介されている図書館の中には、ユネスコの世界遺産として登録されている歴史的な図書館から、建築の巨匠による最新鋭の技術を用いた、まるでSFの世界の建物のような図書館まで、様々な図書館が紹介されています。

本自体も綺麗でいつまでも眺めていられる本です。



勾玉三部作【空色勾玉/白鳥異伝/薄紅天女】

荻原規子 著

分類番号 913



図書館あり

勾玉三部作は、日本史・日本神話をモチーフに世界が神話の時代から人々の時代へと移り変わっていくまでを描いた本格的なファンタジーです。

【空色勾玉】

第1作目「空色勾玉」は古事記のイザナギとイザナミのお話をモチーフに描かれています。

【輝の大御神と闇の一族との戦いが繰り広げられている古代日本「豊葦原」。輝の宮に憧れる村娘の狭也はある日突然闇の一族の巫女「水の乙女」であることを告げられる。狭也が救いを求めた輝の宮で出会ったのは、閉じ込められて夢を見続けていた稚羽矢。2人が出会うことで変わり始めた豊葦原の運命は…】

【白鳥異伝】

第2作目「白鳥異伝」はヤマトタケル伝説がモチーフになっています。

【双子のように育った遠子と小俱那は『大蛇の剣』の主となり、勾玉を守る郷を焼き滅ぼしてしまう。「小俱那はタケルだ。忌むべきものだ。剣が発動する限り豊葦原のさだめは歪み続ける…」大巫女の言葉を受けた遠子の決意とは…？】

【薄紅天女】

第3作目「薄紅天女」は史実でいうと奈良時代、更科日記とアルテイ伝説をモチーフにしています。

【坂東の地で、阿高と同じ年の叔父藤太は双子のように17まで育った。だがある夜蝦夷たちが阿高に告げる…あなたは私たちの巫女、火の女神チキサニの生まれ変わりだ、と。蝦夷の地へ去ってしまった阿高を追う藤太たちの見た物とは…？】

ハウルの動く城 魔法使いハウルと火の悪魔 分類番号 933

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ 作 西村醇子 訳

図書館あり

この作品は題名からお分かりいただけるとおりジブリの映画『ハウルの動く城』の原作小説です。

この作品はもちろん一つの小説としても面白いのですがジブリのハウルを見たことのある方は、ぜひ映画と同じところや違うところを探しながら読んでいただきたいです。サリマン先生が男性だったり、ソフィーも魔法が使えたり…。読みながら映画で設定が変えられたのはなぜかなど考察してみるのも楽しいかと思います。

